

世界遺産一覧表記載資産の保全状況の概要について
(この一年間に保全状況に関連して大きな動きのあったもの)

【白川郷・五箇山の合掌造り集落】

- 「南砺市五箇山世界遺産マスタープラン」の策定（平成 24 年 10 月）
これまで「白川村世界遺産マスタープラン」（平成 22 年 12 月）のみ策定されていたため、南砺市においても包括的保存管理計画に当たるマスタープランを策定し、保全に関する住民参加の枠組みなどを明確化した。現時点では両集落の課題・行政枠組が異なるため、各々の策定を行い、きめ細かい対応を目指しているが、世界遺産全体としての包括的保存管理計画については今後の課題。
- 白川郷における駐車場問題について
景観保全のため、資産範囲内での有料駐車場を住民が自主的に取りやめ、範囲外に村営駐車場を設けてその収入を資産保全に活用するというスキームが定着しつつある。その一方で、村営駐車場の近隣で大規模な民営駐車場が運営され、村営駐車場の収益を圧迫している。

【原爆ドーム】

- 耐震等に係る構造解析調査について
広島市ではこれまで蓄積してきたレンガ壁体の物性、震動特性、地盤の状況等の基礎データを基に構造解析を実施。解析結果からは、想定される地震により即座に致命的な損傷を受けるとは考えにくいとの結果が出されたが、今後、より詳細な解析を行うため、応力が集中するとされた箇所についてコア抜き等の調査を実施し、必要に応じて補強案を策定する予定。
(今後のスケジュール)
 - ① H25.4 ～ H25.6：調査・再解析（コア抜き調査、非破壊調査）
 - ② H25.8 ～ H26.3：構造補強案の作成
 - ③ H26.6 ～ H28.2：原爆ドーム耐震対策事業（実施設計・構造補強工事）
なお②及び③については、①の結果、補強の必要がある場合に実施する。

【古都奈良の文化財】

- 第 35 回世界遺産委員会（平成 23 年）において、平城宮の保全状況について以下の点につき報告を要請されている。
 - ① 仮設及び常設の来訪者用施設についての計画
 - ② 大和北道路建設に関する進捗状況、地下水変動によるリスク低減のための計画
 - ③ 回廊の復原計画について、詳細計画及び証拠等の包括的な妥当性の説明これに対し、平成 25 年 1 月に世界遺産センターに対する回答を行った。

【琉球王国のグスク及び関連遺産群】

- 「包括的保存管理計画」の策定（平成 25 年 3 月）

平成 14 年に沖縄県が策定した「世界遺産の保存・整備・活用に関する基本指針」に基づき、沖縄県及び関係市村等は『琉球王国のグスク及び関連遺産群』の個別の構成資産の保存管理を進めてきた。しかし、資産全体の統一的な管理計画については未策定であったことから、平成 23～24 年度に「『琉球王国のグスク及び関連遺産群』包括的保存管理計画」を策定した。

【紀伊山地の霊場と参詣道】

- 平成 23 年 9 月の台風 12 号の被害に対する復旧状況について

- ・ 当該台風の影響については、ユネスコ世界遺産センターに対して発生直後に報告し、資産全体の OUV に大きな影響は与えていないものの、個別の構成資産の詳細な状況については調査に時間を要するため、適切なタイミングで再度報告することとしている。
- ・ ほとんどの箇所について復旧が完了しているが、斜面崩落により計 220m の参詣道に被害のあった三重県御浜町・横垣峠道については、平成 25 年度に林道の復旧を行い、迂回路とする予定。和歌山県においては、中辺路^{みこし}三越峠付近において資産範囲 50m 程を含む 100m 以上の参詣道に崩落があったが、平成 25・26 年度に林野庁（森林管理署）が倒木処理と山腹工を実施し、27 年度に田辺市教育委員会が参詣道の修理工事を行う予定。